

宮城県知事 殿

住 所 宮城県柴田郡大河原町字西38-1
申請者
氏 名 みやぎ県南中核病院
 病院長 宮崎 修吉



地域医療支援病院の業務報告について

標記について、医療法第12条の2の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

記

I 概要

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒989-1253 宮城県柴田郡大河原町字西38-1
氏名	みやぎ県南中核病院企業団 企業長 下瀬川 徹

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 地域医療支援病院の名称

みやぎ県南中核病院

3 所在の場所

〒989-1253 宮城県柴田郡大河原町字西38-1	電話 (0224) 51-5500
-------------------------------	-------------------

4 病床数

精神病床	感染症病床	結核病床	療養病床	一般病床	合計
床	床	床	床	310床	310床

II 業務報告

1 紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績

地域医療支援病院 紹介率 A/B－(C+D+E)	83.8%	算定期間	2022年4月1日～ 2023年3月31日
地域医療支援病院 逆紹介率 F/B－(C+D+E)	74.2%		
算出 根拠	A：紹介患者の数	11,679人	
	B：初診患者の数	23,076人	
	C：地方公共団体又は医療機関に所属する救急自動車により搬入された患者の数（初診に限る）	3,125人	
	D：休日又は夜間に受診した救急患者の数（初診に限る）	6,019人	
	E：健康診断を目的とする受診により、治療の必要性を認めて治療を開始した患者の数（初診に限る）	0人	
	F：逆紹介患者の数	10,344人	

(注) 1 紹介率及び逆紹介率は、小数点以下第1位まで記入すること。

(注) 2 それぞれの患者数については、前年度の延数を記入すること。

2 共同利用の実績

医療機関延べ数 (うち開設者と直接関係のない医療機関延べ数)	41 機関 (40機関)
共同診療件数	0件
医療機器共同利用件数	1,445件
共同利用病床数	5床
共同利用病床利用率	0%
共同利用施設・設備	<ol style="list-style-type: none"> 施設関連：講堂・研修室、会議室、図書室、救命救急センター外来 医療機器：コンピューター断層診断装置、磁気共鳴診断装置、心臓血管カテーテル装置、消化管内視鏡装置、超音波診断装置（腹部、心臓）、体外衝撃波結石破碎装置、R I（ガンマカメラシステム）、骨密度撮影装置 I T関連：電子カルテシステム オーダーリングシステム、H I Sシステム、R I Sシステム、P A C Sシステム

3 救急医療の提供の実績

(1) 重症救急患者のための病床の確保状況

優先的に使用できる病床	12床
専用病床	12床

(注) 一般病床以外の病床を含む場合は、病床区分ごとに記載すること。

(2) 救急医療の提供の実績

救急用又は患者輸送自動車により搬入した救急患者の数	4,406人 (2,135人)
上記以外の救急患者の数	9,126人 (775人)
合計	13,532人 (2,910人)

(注) それぞれの患者数については、前年度の延べ数を記入すること。

括弧内には、それぞれの患者数のうち入院を要した患者数を記載すること。

(3) 救急用又は患者輸送用自動車

救急用又は患者輸送用自動車	1台
---------------	----

4 地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績

(1) 研修の内容

宮城県南登録医会： 3回
柴田郡医師会学術講演会： 9回
宮城県緩和ケア研修会： 1回
認定看護師公開講座： 1回
大河原薬薬連携勉強会： 1回
みやぎ県南頭痛セミナー： 1回
仙南消化器疾患講演会： 1回
心不全地域連携パス情報交換会： 1回
大腿骨地域連携パス情報交換会： 1回
感染対策合同カンファレンス： 4回
がん関連薬剤師セミナー： 1回
みやぎ県南地区ハートケアネットワーク報告： 2回
救命救急士実習： 79回

(2) 研修の実績

地域の医療従事者への実施回数 ※当該病院以外の地域の医療従事者が含まれるもの	105回
上記の合計研修者数（うち院外参加者数） ※前年度の研修生の実数	724人（ 529人）
研修プログラムの有無	あり
研修委員会設置の有無	あり
研修指導者数	9人
研修施設	講堂、研修室、大会議室、救急研修室、臨床研修管理室、CT室1、MRI室1、MRI室2、MRI室3、血管造影室1、血管撮影室2、RI室、X線TV室1、X線TV室2、X線TV室3、乳房撮影室、歯科・骨密度撮影装置、放射線治療室、位置決めCT室、救命救急センター外来、内視鏡室（6室）、超音波室、超音波室2

5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法

管理責任者氏名	病院長 宮崎 修吉
管理担当者氏名	情報診療部長 清治 和将

		保管場所	分類方法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約		各担当部署	電子カルテ
病院の管理及び運営に関する諸記録	共同利用の実績	患者サポートセンター	
	救急医療の提供の実績	救命救急センター	
	地域の医療従事者の資質の向上を図るための研修の実績	患者サポートセンター	
	閲覧実績	医事課	
	紹介患者に対する医療提供及び他の病院又は診療所に対する患者紹介の実績の数を明らかにする帳簿	患者サポートセンター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

6 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績

閲覧責任者氏名	病院長 宮崎 修吉		
閲覧担当者氏名	医事課 高橋悠哉 廣瀬英昭		
閲覧の求めに応じる場所	みやぎ県南中核病院 スキャンセンター		
前年度の総閲覧件数	31件		
閲覧者別	医師	0件	
	歯科医師	0件	
	地方公共団体	0件	
	その他	31件	

7 医療法施行規則第9条の19第1項に規定する委員会の開催の実績

委員会の開催回数	1回	
委員会における議論の概要		
※別紙参照		

(注) 委員会の開催回数及び議論の概要については、前年度のものを記載すること。

8 患者相談の実績

患者相談を行う場所	相談窓口 (相談室・その他) (病棟面談室)
主として患者相談を行った者 (複数回答可)	医療ソーシャルワーカー：佐藤新奈 大村亜沙美 工藤鮎子 山田嶺 佐藤友佳梨 桂島穂 看護師：鈴木しのぶ 庄司沙織 武田利江 菊地浩子 齊藤麻衣
患者相談件数	新規介入件数：2,456件 延べ対応件数：11,013件
患者相談の概要	
<p>1) 退院支援 入院した患者を病棟看護師がスクリーニングをおこない、退院支援が必要な患者を抽出する。医療ソーシャルワーカーと退院調整看護師も確認し病棟看護師と入退院支援カンファレンスをおこない退院支援計画書を作成する。早期に患者や家族と面談し退院後の療養先について相談していく。病状や治療の経過に合わせて、在宅介護の支援や転院調整（回復期リハビリ病棟、地域包括ケア病棟、療養病棟）をおこなっている。また入院患者や家族からの自主的な相談にも対応している。</p> <p>2) 公費福祉制度相談 傷病に応じて活用できる公費や福祉制度の紹介や申請方法を説明している。介護保険、身体障害者手帳、障害年金、指定難病助成、肝炎治療助成、自立支援医療等。</p> <p>3) 療養や受診の相談 医師と患者との信頼関係をもとに、患者の取り巻く生活上の問題を把握し、医師・看護師等と調整しながら問題解決に務めている。</p> <p>4) 医療費相談 医療費の支払いに不安を抱える患者・家族の相談に対応する。活用できる制度（高額療養費、公費負担、生活保護等）を紹介しながら問題解決に務めている。医事課会計係と連携し分割支払いの対応をしている。</p> <p>5) 苦情相談 患者家族からの面談や電話、メールによる苦情に対応している。記録にまとめて毎週火曜日の苦情相談カンファレンスで協議している。</p>	

(注) 患者相談の概要については、相談内容を適切に分類し記載するとともに、相談に基づき講じた対策等があれば併せて記載すること。また、個人が同定されないよう配慮すること。

9 その他の地域医療支援病院に求められる取組み（参考）

① 病院の機能に関する第三者による評価の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
② 果たしている役割に関する情報発信の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
③ 退院調整部門の有無	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無
④ 地域連携クリティカルパスの策定	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無

(注) 医療機能に関する第三者による評価については、日本医療機能評価機構等による評価があること。